



## 高校情報 I 新訂版

一般社団法人デジタル  
人材共創連盟代表理事  
京都精華大学 教授  
鹿野 利春

本書「高校シリーズ」は、情報に興味・関心がある生徒の知的好奇心にも応える教科書として、多くの高校でご使用いただいています。この度、さらに先生が教えやすく、生徒が学びやすくなるように改訂しました。

### 1. 改訂の内容

- (1) 学習内容を表1に示すように、学習指導要領に合わせた配列にしました。ただし、4章と6章を並び替えると改訂前の配列でも指導できるよう、6章構成を堅持しています。
- (2) 共通テストレベルまでを本文、それ以上をADVANCEに再構築し、ADVANCEは本文の後ろにまとめました。
- (3) 本文で基礎的な内容を押さえつつ、学校や生徒の状況に応じて、ADVANCEの内容を取り入れることができます。
- (4) 知識や用語の背景・仕組みを説明することにより、生徒の知的好奇心を満たすとともに、幅広い知識をつけることができます。

表1 本書の章立て

第1章	情報社会と問題解決
第2章	コミュニケーションと情報デザイン
第3章	コンピュータのしくみ
第4章	プログラムとシミュレーション
第5章	ネットワークと情報システム
第6章	データの活用
ADVANCE	
巻末付録	

### 2. 教科書の構成

本文を37のテーマに分け、テーマごとに選んで学習できる構成としました。テーマごとに「本文→例題→問題」とし、先生が授業しやすく、生徒も自分で学びやすいようにしました。

#### (1) 本文（学習内容を説明）

表やグラフ、イラストなどを効果的に使い、学習内容の理解を促進するようにしました。

#### (2) 例題（本文の内容を活用）

身近な課題を扱い、本文の内容を活用することで、知識の定着を図ります。例題の一部では、解答例に加えて、考察でより高度な力をつけられるよう配慮しています。

#### (3) 問題（例題を参考にして解く）

例題を参考にした内容で、理解の確認ができます。

### 3. その他の工夫点

- (1) 2種類の索引を用意することで、五十音順でも、カテゴリ別でも用語を検索することができます。
- (2) Plusとして、発展的な用語の説明をしています。ADVANCEと同様に、学校や生徒の状況に応じて授業に取り入れることができます。
- (3) Columnとして、具体的な例を挙げた用語や概念の説明をしています。
- (4) QRコンテンツとして、章末問題の詳解や補充問題、Pythonプログラム、説明スライド、Excel例題など、学習に役立つ内容を入手できるようにしています。
- (5) 巻末の折込には「さまざまなプログラミング言語とプログラム例」と題して、高校で扱う主要な言語から大学入学共通テスト用プログラム表記までを一覧で掲載しています。